



コロナよりも強く大音楽会 in 三田

2021 9 / 26 sun.

開場 13:30 開演 14:00

三田市総合文化センター・郷の音ホール（大ホール）

【主催】 『コロナに負けるな大音楽会』 実行委員会

【後援】 三田市、三田市教育委員会、三田市文化協会、
三田市音楽協会、三田市合唱連盟、三田市吹奏楽連盟

【協力】 三田市総合文化センター

ごあいさつ

音楽の力で元気と喜びを



三田市長 森 哲男

この度は、「コロナよりも強く大音楽会 in三田」の開催、こころよりお喜び申しあげます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たち人類に未曾有の危機をもたらしました。コロナワクチン接種が普及してきたとはいえ、まだまだ終息の目途は立っておりません。

このような中、音楽を通じて、市民の皆さんに元気と希望、喜びを届けようとプロ・アマを問わず有志の方々が企画され、感染対策を講じながら取り組みを進めてこられたことに敬意を表します。

この未曾有のコロナ禍により、文化芸術は前例をみない試練に直面することとなりました。特に音楽活動は、人と人を音色や歌で結ぶため様々な制約の中で活動せざるをえなくなりました。一方で、このような困難な状況にあっても、音楽が人々にエネルギーや希望を与えうることによりあらためて気づかされる機会ともなりました。

この音楽会がひとつの契機となり三田の音楽文化の更なる発展につながることを期待しております。

最後になりましたが、関係者、ご出演の皆さまの益々のご活躍とご多幸を心よりご祈念申しあげて挨拶とさせていただきます。



『コロナに負けるな大音楽会』
実行委員長 松原 紀彦

本日は『コロナよりも強く大音楽会 in 三田』によろこそお越しくございました。この音楽会は、アマチュア、プロフェッショナルを問わず、コロナ禍によって停滞している三田の音楽活動の活性化、ならびに文化の向上、そして演奏を通して市民の皆様を元気づけたい、皆様と共に音楽の喜びを分かち合いたいとの思いから計画が始まりました。

新型コロナウイルス感染症による不安や先行きの読めない社会情勢の中で、政府、兵庫県、三田市、そして業界ガイドラインに則ってその予防対策に徹底的に取り組み、ご来場の皆様に安心して音楽を楽しんでいただけるよう、出演者一同、検討を重ねながら準備して参りました。

本日の音楽が、少しでもご来場の皆様の琴線に触れるものとなればこの上ない喜びです。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。



第1部

× × 合唱 × ×

♪ 三田混声合唱団

指揮：角南 潤 ピアノ：角南 優子

1. 雲に人間を殺させるな

【ナジム・ヒクメット 作詩／外山 雄三 作曲】

2. 若返りの水

【宮沢 章二 作詞／福井 文彦 作曲】

♪ 麻の実コーラス

指揮：阪本 安江 ピアノ：丸尾 美紀

1. 女声合唱とピアノのための「七色の虹」より 道

【なかにし あかね 作詞・作曲・編曲】

2. 女声合唱とピアノのための「七色の虹」より 元気になっちゃう

【なかにし あかね 作詞・作曲・編曲】

女声合唱団 Stella の有志と合同演奏

3. 群青

【福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生 構成

小田 美樹 作詞／小田 美樹 作曲／信長 貴富 編曲】

♪ 女声合唱団 Stella

指揮：西岡 茂樹 ピアノ：田附 彩織

1. いのちの歌

【Miyabi 作詞／村松 崇継 作曲／富澤 裕 編曲】

2. Jazz Songs of Innocenceより” The Lamb”

【William Blake 作詞／Bob Chilcott 作曲】

3. Jazz Songs of Innocenceより” Piping down the valleys wild”

【William Blake 作詞／Bob Chilcott 作曲】

♪ 三田少年少女合唱団

指揮：小中 公平 ピアノ：高橋 陽子

カホン：西尾 結心 フルート：辻江 萌香

1. 音楽朗読劇『ポセイドン仮面祭』より

ポセイドン仮面祭・いつもいつも・どんな人かしら
時がくるまで・恋してしまった・この島は

【吉峯 暁子 作詞／合田 佳代子 作曲】

第2部

吹奏楽 世界音楽巡り

 郷の音吹奏楽団 指揮：松原 紀彦 鷹田 秀人

1. 「斎太郎節」の主題による幻想
【合田 佳代子 作曲】
2. 「吹奏楽のための第二組曲」より I・II・IV
【グスターヴ・ホルスト 作曲】
3. バレエ音楽「コッペリア」より
前奏曲とマズルカ・ワルツ・チャルダッシュ
【レオ・ドリーブ 作曲／淀 彰 編曲】
4. 行進曲「旧友」
【カール・タイケ 作曲】
5. 交響詩「フィンランディア」
【ジャン・シベリウス 作曲／マーク・ハインズレー 編曲】
6. 合唱団と一緒に
Believe 【杉本 竜一 作詞・作曲／合田 佳代子 編曲】
翼をください 【山上 路夫 作詞／村井 邦彦 作曲／合田 佳代子 編曲】

プロフィール

■ 三田混声合唱団

昭和51年、故堺好昭先生のもとに地元の有志が集まって設立。以来20回のおよそ2年定期の演奏会をはじめ、地域密着のイベント参加や訪問演奏などを続けてきました。

45周年のことし、コロナ過による演奏会中止は二度目でした。

ご指導は揃って大阪音楽大学卒の角南先生ご夫妻。指揮・潤先生は神戸市混声合唱団などで活躍され、ピアノ・優子先生は各コンクール入賞後いまでも神戸親和女子大学などの講師です。

来年3月12日に記念演奏会を予定しています。

ソプラノ

秋山 美智子
出 恵子
戸田 典子
村林 千加子
鎗柄 ちよみ

アルト

伊藤 京子
川崎 洋子
下門 佳子
福原 法子
宮崎 薫
山路 和子
横山 栄子

テノール

鎌田 謙一
中嶋 新太郎
藤井 謙悟

バス

中井 秀康
中村 祥三
山口 武宏

■ 麻の実コーラス

武庫小学校のPTAコーラスを母体とし佐藤紀子先生のご指導で38年前に活動を始めました。活動は合唱祭、高齢者のつどい、病棟慰問等ですが、コロナ感染拡大以降今回が初めての本番です。現在は佐藤先生の体調を考慮し阪本先生にもご指導頂いています。ピアニストとしては昨年出産されていた丸尾美紀さんに復帰していただき一同とても喜んでます。阪本先生はとてもスリムですがご指導はエネルギーでメンバーは楽しくてテンションマックスで帰路につきます。

ソプラノ

上田 邦子
川野 由美子
福澤 ちづ子
山之口 薫

メゾソプラノ

嘉嶋 妙子
柴本 千昌
竹田 桂子
宮内 ますみ
三崎 恵子

アルト

有田 昌子
海老名 和子
加藤 康子
木村 純子
島田 裕子

■ 女声合唱団 Stella

女声合唱団Stellaは20代から70代までの約35名で活動しています。昼の部と夜の部があり練習参加に関しては個人の都合に合わせていろいろなパターンを用意しています。現在は来月の関西合唱コンクールや、来年9月4日に開催予定の第9回定期演奏会に向けて練習中です。指揮者は合唱に対する断固とした信念をお持ちの西岡先生ですが、いつもおやじギャグ満載で笑いが絶えません。そんな先生の元、団員一丸となって楽しく練習に励んでいます。

ソプラノ	メゾソプラノ	アルト
荒川 淳子	東 照美	大前 悦子
大塚 美保子	来住 知香	荻山 昌代
歳内 喜代美	坂本 みき子	尾崎 理絵
佐藤 朋子	高田 理枝	小野田 雅美
西岡 恵子	土橋 幸子	桜井 夕起
橋本 貴子	平田 晴美	桧垣 眞里
山内 敦子	藤原 園子	森川 勝子
	安井 知子	守田 香代子
	山下 久美子	山下 和美

■ 三田少年少女合唱団

故堺好昭、花房敬三の両氏を初代指導者として1979年に設立されました。三田市内を中心に様々なイベントに出演する他、国際的な合唱祭からの招待、著名なコンクールへの出場など、活動を広げています。近年は「三田国際ジュニア合唱祭」を主催し、ポーランド、スペイン、エストニア、ドイツの児童合唱団を招聘し交流しました。現在は年長から高校生までの約60名が在団しています。指導及び指揮の小中公平とピアニストの高橋陽子の両氏は、三田市出身で大阪教育大学と同大学院の同門生です。愛称は三少（さんしょう）です。

伊丹 結希	上垣 ひかり	亀島 菜乃	込山 直樹	杉浦 そらの	三浦 直実	山本 真優
生田 さくら	西尾 結心	鍛冶本 彩美	高松 里菜	井福 大士	井福 悠太	古場 聖乃
辻江 萌香	宇野 つむぎ	尾上 ひなた	加地 史奈	桑原 彩寧	滝川 千陽	二口 華帆
西尾 愛心	前川 智子	森 彩晴	吉原 愛実	毛下 桃花	佐藤 哲	高濱 愛結夏
武部 麗	田中 絵夢利	永田 泰陽	中村 友祐	西浦 早紀	二森 美和	奥谷 奈々
藤網 優衣	山口 玲奈	四辻 彩海	高橋 美緒	西尾 心真	二森 萌衣	萩原 李帆
橋本 結	増田 沙菜	劉 家好	足立 梓	越智 双葉	韓 美岐	田中 あさひ
	弓岡 万桜	中山 悠	二森 功太郎	劉 子豪	足立 渚	

■ 郷の音吹奏楽団

郷の音吹奏楽団は「コロナよりも強く大音楽会」の目的と同様、昨年からの新型コロナウイルスの影響により停滞している三田の音楽活動の活性化ならびに文化の向上、そして演奏を通して市民の皆様を元気づけたい、皆様と喜びを分かち合いたいとの思いから結成されました。三田の文化の中心地である郷の音ホールにちなんで「郷の音」の名称を使用させていただき、メンバーは三田市内の一般演奏団体からの有志の他、各高等学校吹奏楽部OB・OG、丹波篠山や神戸など他都市からの吹奏楽愛好者で編成されています。

松原 紀彦（まつばら としひこ）

クラリネット奏者。大阪音楽大学卒業後、フランス国立ルーアン音楽院に留学。帰国後、大阪市音楽団（現オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ）に入団。1992年～2002年まで同団のコンサートマスターを務める。現在、オーケストラ、吹奏楽団、合唱団の指導、指揮者として活動している。三田市在住。

鷹田 秀人（たかた ひでと）

大阪音楽大学卒業。クラリネットを本田耕一氏に師事。大学在学中より各地の中学校・高等学校の吹奏楽部、アマチュア吹奏楽団やオーケストラのクラリネット及び合奏指導者として活動。三田学園中学校・高等学校教諭ならびに同学園吹奏楽部顧問。三田市吹奏楽連盟理事長。

ピッコロ・フルート

木津 伊織
国田 真柚子
久良木 涼子
松崎 直子

オーボエ

牧野 向夏

ファゴット

加納 麻衣
木谷 真帆

E♭クラリネット

似内 和華子

クラリネット

荒山 柚季
五十嵐 房代
植村 翔馬
大塚 菜美子
京谷 実奈

古結 友梨

田中 真衣
長谷川 明日奏
藤原 慶子
松原 邦彦
宮垣 佳織

アルト・クラリネット

品川 健

バス・クラリネット

小柳 千絵
森田 麻祐子

アルト・サクソフォン

小山 智聖
田畑 明日香

テナー・サクソフォン

福井 瑞葵
山本 優季

バリトン・サクソフォン

樽井 博司
西 穂乃夏

トランペット

青木 麻莉子
石井 資大
井関 昌治
下村 伊都
野々口 光
山口 雅哉

トロンボーン

近藤 梨佳子
坂田 克美
高橋 美佳

ホルン

奥 直美
尾西 克己

木挽 奈穂美

前田 陽子
渡邊 依子

ユーフォニアム

橋上 亜紀子
森永 千晴
渡邊 敦史

チューバ

橋之口 菜菜美
山内 孝之

パーカッション

五十嵐 愛
井添 美佐子
久保田 真実
藤原 圭佑
藤原 匠吾

プログラムノート

■ 雲に人間を殺させるな

世界的な大詩人ナジム・ヒクメットは日本の原爆についていくつかの詩を書いています。この詩もそのひとつです。「雲に人間を殺させるな」ドキッとする題名です。「雲・・・」が原子雲を表しているのは間違いないでしょう。

歌うのはとても難しい曲ですが、何とかその訴求をお伝えできればと精一杯がんばります。

■ 若返りの水

「若返りの水」は、一転して民謡調の曲です。山深い里に住む老夫婦がある日、偶然、飲めばたちまち若返る泉の水に出くわします。婆さんは若がえりに成功、飲みすぎた爺さんは一体どうなったのでしょうか。飲めばたちまち若返る。夢のような水を飲んでみたいものです。

世界一おいしい日本の水。（コロナ過のどさくさ中、国際資本に売り渡さず大切に・・・）

■ 女声合唱とピアノのための「七色の虹」より 道

阪本先生が選んでくださった曲集ですが、人生の半ばを過ぎた私たちの気持ちにピッタリです。

「道」は眠れないほどの辛い出来事があっても一歩ずつ進めば明るい未来に行きつく、その時には次の新しい自分に出会える、出会わなくてはと歌った曲です。

■ 女声合唱とピアノのための「七色の虹」より 元気になっちゃう

やさしい言葉でとても歌いやすい曲です。こんな状況ですが、私たちは仲間と集い歌うことが生きがいです。歌うことで元気になっちゃうのです。

■ 群青

今この状況は災害です。これが終わったら会える、何でもできるのだからと希望を持って待つことも大切だと思いますが、今できることをしていくことも生きていく大きな糧になります。この一瞬を大切に生きていきたいと思わせてくれる曲です。Stellaさんと共に歌えることをとてもうれしく思っています。

■ いのちの歌

作詩のMiyabiとは竹内まりやさんのペンネームです。朝ドラの挿入歌になり、紅白でも歌われ、タイトル通り「命」の大切さをわかりやすい言葉と温かい旋律で表現した名曲です。生きていく事、生まれてきた事、育ててもらった事、出会った事すべてに感謝し、そしていつかこの世にさよならした後にも延々と継がれていくかけがえのない命を大切にしようというメッセージが込められています。こんな世の中だからこそ嘯みしめたい詩です。

■ Jazz Songs of Innocenceより”The Lamb”

イギリスの詩人ウィリアムブレイクの”Songs of Innocence”(無垢の歌)という詩集から5曲に、ボブチルコットがニューオリンズの音楽祭のためにジャズ風に作曲した曲集”Jazz songs of Innocence”から2曲を歌います。先に歌う”The Lamb”は、神様自身にもたとえられる子羊に「誰があなたを作ったの?」「神様もあなたと同じ名前と呼ばれているのよ。」と優しく語りかけ、最後は「神の祝福を」と祈る歌詞で終わります。

■ Jazz Songs of Innocenceより”Piping down the valleys wild”

同じく”Jazz songs of Innocence”からの曲ですが、こちらはリズムカルで明るい歌です。笛吹さんが笛を吹いて歩いていると少年に出会い、その少年は感動して泣いてしまいます。今度は、その歌に歌詞を載せて歌うとさらに少年は喜んで涙します。そして、笛吹さんはみんなが歌えるように葦の葉でペンを作ってその歌詞を書いてあげて、たくさんの子どもたちが喜んだというかわいくて楽しい曲です。

■ 音楽朗読劇「ポセイドン仮面祭」より

ポセイドン仮面祭・いつもいつも・どんな人かしら
時がくるまで・恋してしまった・この島は

『ポセイドン仮面祭』という戯曲を吉峯暁子脚本・合田佳代子作曲の組み合わせで披露したのは、今年9月5日に三田少年少女合唱団が公演したのが初めてです。ある美しい島では年に一度「ポセイドン仮面祭」が行われ、この宵に恋をした若者は結婚が許されるしきたりです。

「生涯愛する人に出会う」と予言を受けた少女の恋と、金に溺れた統治者への島民叛乱が錯綜する大喜劇が、約40分の朗読と約20分の音楽で構成されています。



■ 「斎太郎節」の主題による幻想

東日本大震災の翌年の2012年に作曲しました。震災復興への想いがあり、宮城県民謡である『斎太郎節』を曲に取り入れました。2013年に課題曲採用が決まり2014年度の課題曲Ⅲとして採用されました。参考演奏は東京佼成ウインドオーケストラだったので、9月に東京で録音が行われました。録音に立ち会っており録音が終わった日に帰る予定が、大雨で新幹線が不通で帰れず、急遽東京でもう一泊することになったことも懐かしい思い出です。（解説：合田 佳代子）

■ 「吹奏楽のための第二組曲」より I・II・IV

組曲『惑星』で有名なイギリスの作曲家、グスターヴ・ホルストが1911年に作曲した作品です。4楽章（行進曲・無言歌・鍛冶屋の歌・ダーガソン幻想曲）からなっており、どの楽章もイギリスの民謡や舞曲を題材としています。第1組曲とともに、“吹奏楽”という音楽ジャンルの礎（いしづえ）となった名曲です。

■ バレエ音楽「コッペリア」より

前奏曲とマズルカ・ワルツ・チャルダッシュ

バレエ音楽や歌劇で知られるフランス・ロマン派のレオ・ドリーブが作曲しました。『コッペリア』は、ポーランドのとある村に棲む変わり者のコッペリウス博士の作った機械人形の名前を題材とした3幕からなるバレエ作品になっています。人形とは知らずにコッペリアに恋をした村の青年フランツと、フランツの恋人スワニルダが主役となっています。フランツはそのコッペリアを人間と信じ込み、スワニルダという恋人がいるのにも関わらず夢中になってしまいます。

■ 行進曲「旧友」

1889年にカール・タイケが作曲したドイツを代表する軍隊行進曲です。作曲当初は『行進曲は十分間に合っている。こんな曲はストーブに放りこんで薪にでもしてしまえ！』と酷評を浴びせられるなど、決してよいものではありませんでした。しかし、次第に評価されるようになり、今ではドイツを代表する行進曲のひとつとして位置づけられ、日本でも運動会をはじめ、テレビ・ラジオ番組のBGMなどでよく耳にする機会がある行進曲の一つとなっています。

■ 交響詩「フィンランディア」

フィンランドのジャン・シベリウスによって作曲された交響詩です。19世紀末のフィンランドは、ロシアの圧政下にあり、ロシアからの独立の気運に燃えていたフィンランド国民を鼓舞したのがこの曲でした。シベリウスがフィンランドに対する熱い愛国心を込めて作曲した名曲です。





応募作品：
(ポスター・チラシ 原画)

三田市立八景中学校3年生
外山 果鈴さん



応募作品：

三田市立八景中学校2年生
阪田 百香さん

司会者：武田 康子

兵庫県出身。大学在学中よりアナウンスメントを専攻。卒業後アナウンススクールに入学、その後フリーで活動する。現在、FM尼崎「モーニングアベニュー」(金)、「ラジネット兵庫」、KBS京都「濱田幸一のキラピカ」、さくらFM「薬の情報BOX」「ノーマライゼーション西宮」「クールチョイス」担当。その他CM、ナレーション、ブライダル、イベント、コンサート司会など多面で活躍中。

打楽器奏者でもあり、幼稚園・小学校で子ども向けのコンサートやリズム遊びなども行っている。なかでも絵本の読み聞かせに、打楽器を使った企画は好評。最近では、リトミック講師として幼稚園や地域子育て支援センター、子育てイベントなどでも子ども達の感性を生かしたリトミックを行っている。また、絵本講師、話し方講師など活躍の場も広がっている。



Believe

(1 番)

たとえば君が傷ついて
くじけそうになった時は
かならず僕がそばにいて
ささえあげるよその肩を
世界中の希望のせて
この地球はまわってる
いま未来の扉を開けるとき
悲しみや苦しみが
いつの日か喜びに変わるだろう
I believe in future 信じてる

(2 番)

もしも誰かが君のそばで
泣きだしそうになった時は
だまって腕をとりながら
いっしょに歩いてくれるよね
世界中のやさしさで
この地球をつつみたい
いま素直な気持ちになれるなら
憧れや愛しさが
大空にはじけて光るだろう
I believe in future 信じてる
いま未来の扉を開けるとき
I believe in future 信じてる

翼をください

(1 番)

いま私の願いごとが
かなうならば翼がほしい
この背中に鳥のように
白い翼つけてください
この大空に翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない自由な空へ
翼はためかせ行きたい

(2 番)

いま富とか名誉ならば
いらないけど翼がほしい
子どものとき夢みたこと
今も同じ夢に見ている
この大空に翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない自由な空へ
翼はためかせ行きたい

—お知らせ—

ポップスコンサート

2021年12月5日(日)

13:30 開場 14:00開演

三田市総合文化センター・郷の音ホール(大ホール)

主催:郷の音吹奏楽団